



高橋 秀彰 議員

### RPA（パソコン自動処理）の導入について

**問** RPAは、パソコン操作の一部もしくは全部を、ソフトウェアロボットが自動化するもので、パソコン上でソフトウェアロボットが、人に代わって自動的に情報処理などを実施するシステムである。RPAのメリットは、業務時間の短縮と、ミスの少ない的確な情報処理ができており、職員がパターン化された業務から解放され、付加価値の高い、政策的な業務へ

の取り組み等が可能となり、働き方改革につながる効果が期待できると考える。職員の業務負担軽減や、何よりも市民サービスの向上につながるものであり、今後、RPAの導入に向け、積極的に検討を進めてはどうか。



**答（企画政策部長）** RPAは、これまで手作業で行ってきた定型なパソコン操作を、品質を落とさず自動化することが可能であり、比較的低コストかつ短期間で導入できるソフトである。つくば市では、個人住民税における事業所の新規登録業務や法

人市民税の電子申告審査業務など6業務の稼働実績により約8割の時間外勤務の削減を得ており、RPAの潜在能力は非常に高いと考えている。また、RPAの導入による作業時間の短縮で時間外費用が削減でき、短縮された作業時間を住民とのコミュニケーションなどに充てることで住民サービスの向上も期待できる。導入に向けた課題として、費用対効果の見極めや業務の選定等があるため、ワーキングチームを立ち上げ、より効果的な業務の選定やシナリオ作成技術の習得などを検討していきたい。

### 《その他の質問》

- ・一人暮らし高齢者の終活支援について



落合 康之 議員

### ごみの収集について

**問** 2月の初めから急に回収が厳しくなったと市民から相談を受けた。これまではレジ袋でも回収していたが、黄色い紙を貼られ集積所に残されるようになった。そこで①最近になって回収が厳しくなった理由は何か②厳しくするにあたり周知方法に無理はなかったか③レジ袋でゴミを出せない理由は何かを伺う。

4月からごみ袋としてのレジ袋の使用を禁止しているが、一部レジ袋によるごみ出しが継続的にあり、正しく行っている市民からの意見が多々あったため、現場の状況を鑑み、収集の徹底を図っている状況である。②ホームページや出前講座等、周知は常に行ってきた。レジ袋で出されたごみは警告シールを貼っているが、今回のごみ収集の徹底については事前の通知もすべきであったと感じている。③地球環境に対する資源枯渇防止等の観点からレジ袋削減とマイバッグ持参を推進してきた。レジ袋の使用を抑える行動を推進するために禁止させていただいた。

ページに記載がある。古河市はレジ袋削減のために平成22年度からレジ袋でのゴミ出し禁止を始めたが、統計も取っていない。数値を示さず、レジ袋をごみ袋に入れれば回収するといったやり方は、過剰包装であると思うが、レジ袋を指定ごみ袋にできないのか。

**答（市長）** 事業所にとってレジ袋はPRの一つであり、できないとのことだった。レジ袋も含め、総合的にごみ減量化の運動を進めていきたい。



**答（生活安全部長）** ①平成22年

**（再質問）** 宇都宮市はレジ袋をごみ袋として使用可能とホーム